

謡曲「都筑」について

謡曲「都筑」は、私が都筑地区での能楽活動の中で、地元のアリジナルな曲を作りたいという仲間の意向を受け、平成九年に「都筑の神歌」といえるような曲を作ってみました。

都筑に縁のある神様としては、延喜式神名帳に杉山神社が記されています。

この杉山神社が現在のどの神社かについては定説はないようです。

茅ヶ崎の杉山神社には古くから伝わる社伝があり、有力な候補の一つに数えられています。

ともかく、鶴見川流域には多くの杉山神社が祀られています。

杉山神社の祭神は現在では様々となっていていますが、その代表的ともいえる五十猛命を選び出し、この神様について古事記、日本書紀、古語拾遺を調査し、これを参考にして創作したものです。

謡曲の内容は、イザナギ・イザナミの命の国生みの後、天照大神が高天原を治めることになりました。

その弟神であるスサノオ命が乱暴を働き、高天原を追われて韓国に天下ります。

韓国には、金銀を始め様々の宝物がありました。宝物の中には浮宝すなわち船もありました。

この神話によると、当時の日本には船が無く、船の材料となる木もありませんでした。

そこでスサノオ命は治山治水にも有益であり、船材ともなる木を日本に繁茂させるべく多くの樹々の種を持って高天原に帰り、天照大神に奉ります。

スサノオ命の御子五十猛命（イタケルノミコト）はその樹種を持って日本に天下り、国々に樹を植えて歩かれ都筑の地にお来しになりました。

命は都筑の地が大層気に入られ、都筑の土地と民、山川草木に至るまで恵を授けると誓われて宮居（鎮座）され、舞を舞うという内容です。

謡曲の神歌の都筑版でありますので、神歌に倣ってツヨ吟だけで作曲いたしました。

従って、神歌を思わせるような難しい譜面とはなっていますが、都筑の地にある唯一の謡曲ですので皆様に楽しく謡って頂ければ幸いです。

平成二三年一月吉日

長谷川 武雄